

《ニュースリリース》

2026年1月26日(月)

リンナイ株式会社

ハイブリッド給湯器の累計出荷台数が20万台を突破 CO2 従来比56%削減 カーボンニュートラルの実現を後押し

リンナイ株式会社(本社:愛知県名古屋市、社長:内藤 弘康)のハイブリッド給湯器の累計出荷台数が、2026年1月に20万台を突破しました。

ハイブリッド給湯器の累計出荷台数



省エネNo.1 リンナイのハイブリッド給湯器



ハイブリッド給湯器は、電気ヒートポンプと潜熱回収型ガス給湯器を組み合わせた高効率給湯器です。従来型のガス給湯器と比べて年間のCO2排出量を56%削減^{*1}し、家庭のエネルギー消費の3割を占める給湯分野の省エネに大きく貢献します。累計20万台の年間CO2削減量は、小規模な火力発電所1基分に相当します。当社は、2010年に世界初の家庭用ハイブリッド給湯器を発売^{*2}しました。2015年頃からは、「ZEH(ゼッチ)」など省エネ住宅への採用が広がりました。さらに、2023年度に開始した「給湯省エネ補助事業」により既設ガス給湯器の取替えが進み、出荷台数は大幅に増加しています。

2025年2月には、カーボンニュートラル実現に不可欠な再生可能エネルギーの主力電源化を見据え、ハイブリッド給湯器を電力需給の調整力として活用する検証を開始しました^{*3}。

省エネ性能に優れたリンナイのハイブリッド給湯器が、2050年のカーボンニュートラル実現を後押しします。

《本件のお問い合わせ先》

リンナイ株式会社 営業本部 TEL 052-361-8211(代表)

(注)本資料に記載されている内容は発表日時点の情報です。

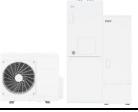
ご覧になった時点で、内容が変更になっている可能性がありますので、あらかじめご了承下さい。

^{*1} 給湯使用時のCO2排出量。ECO ONE 160Lタイプの場合。^{*2} 進化を遂げた高効率給湯器 世界初ハイブリッド給湯器、誕生! , 2010年2月4日, <https://www.rinnai.co.jp/releases/2010/0204/>^{*3} ハイブリッド給湯器のDRready実証実験を開始, 2025年2月3日, <https://www.rinnai.co.jp/releases/2025/0203/>

参考情報

■ 省エネ性能に優れたリンナイのハイブリッド給湯器

リンナイのハイブリッド給湯器は、「省エネ大賞」をシリーズ通算4回受賞するなど、その省エネ性能が高く評価されています。省エネNo.1^{*4}のリンナイのハイブリッド給湯器が、カーボンニュートラル実現を後押しします。

2010年	電気ヒートポンプと潜熱回収型ガス給湯器を組み合わせた、世界初の家庭用ハイブリッド給湯器「ECO ONE(エコワン)」を発売。 平成25(2013)年度省エネ大賞・経済産業大臣賞 受賞	 世界初
2012年	エネルギー消費の半分を暖房が占める北海道の特性を踏まえ、北海道向けハイブリッド・給湯暖房システムを発売。	
2012年	タンク容量を100Lに大型化した「ECO ONE」を発売。 平成28(2016)年度省エネ大賞・省エネルギーセンター会長賞 受賞	
2015年	電気ヒートポンプの冷媒にR32を採用した「ECO ONE」を発売。 平成28(2016)年度省エネ大賞・省エネルギーセンター会長賞 受賞	
2017年	タンク容量を160Lに大型化した「ECO ONE」を発売。インターネット接続による、外出先からの操作に対応。 COOL CHOICE LEADERS AWARD 2018・環境大臣賞 受賞	
2021年	北海道向け冷暖房・給湯システムを発売。業界で初めて、温水暖房、冷房、給湯、湯はりを1つのシステムで実現。 2021年度省エネ大賞・省エネルギーセンター会長賞 受賞	
2022年	都市部の住宅密集地でも設置しやすい「ECO ONE X5(エコワン・エックスファイブ)」を発売。コンパクトながら、トップクラスの省エネ性を実現。 2022年度省エネ大賞・資源エネルギー庁長官賞 受賞	
2023年	既設コンセントに接続可能な「ECO ONE X5 プラグインモデル」を発売。業界初の制御技術により、ヒートポンプ運転時の消費電力を抑制。	

■ 小規模な火力発電所1基分のCO2を削減

ハイブリッド給湯器累計20万台のCO2削減量は、年間17万トン^{*5}にのぼります。この削減量は、小規模なLNG火力発電所(出力約9万kW)1基分に相当します^{*6}。

*4 ECO ONE 160Lタイプの場合。国立研究開発法人建築研究所(協力:国土交通省国土技術政策総合研究所)による「建築物のエネルギー消費性能に関する技術情報」で公開されている平成28年省エネルギー基準に準拠した「エネルギー消費性能計算プログラム(住宅版)Ver.3.9.0」(6地域)による算出(2025年1月現在)。

*5 ハイブリッド給湯器のCO2削減量: ECO ONE 160Lタイプの給湯使用時のCO2削減量より、851kg/1台とする。

*6 LNG火力発電所のCO2排出原単位: 0.415kg-CO2/kWh、設備利用率:50%として算出。当社調べ。